

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 7-1-3	事務事業名 コール田無ホール運営管理費(施設運営管理費を含む)	所管部課 生活文化スポーツ部文化振興課
----------------	------------------------------------	------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等	
	<p>平成11年7月に開館した当該施設は、市民及び近隣市の人々との広域的な交流とふれあいの場を提供するため設立され、西東京市における文化施設として市の直営にて運営している。</p>	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領	
	<p>事業内容・実施方法等／補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する</p> <p>【施設貸館運営事業】 ①多目的ホール(定員182人) ②音楽練習室(定員20人) ③イベントルームA(定員45人) ④イベントルームB(定員36人) ⑤会議室A(定員36人) ⑥会議室B(定員24人) 【併設施設】ピッコロひろば(子育て支援施設) 【施設貸館事業実施方法】 ①施設窓口における直接申請(多目的ホール、ホール予約に伴うイベントルーム、イベントルームでの展示利用) ②公共施設予約システムにおける対応(イベントルーム、音楽練習室、会議室) (予算事業名 02.01.15.01施設運営管理費、02.01.15.02ホール運営管理費)</p>		
	事業開始時期	合併前	実施形態

事業費データ	項目		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	事業費(A)			千円	59,733	57,355	45,654
財源内訳	国庫支出金・都支出金						
	地方債						
	その他 (施設使用料)			10,005	10,325	10,469	10,401
	一般財源			49,728	47,030	35,185	45,973
所要人員(B)		人		0.14	0.14	0.14	0.14
人件費(C)=平均給与×(B)		千円		1,143	1,078	1,111	1,150
臨時職員賃金等(C')		千円		6,719	6,717	6,757	6,897
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円		67,595	65,150	53,522	64,421
単位当たりコスト							
(E)=(D)/ (施設開館日数)		千円		219	212	174	209

評価指標の設定	活動等指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	①施設開館日数	実績値	日		309	308	307	308
②施設利用率(多目的ホール)	実績値	%		52.2	51.4	53.5		
《指標の説明・数値変化の理由 など》 市民等が施設利用の可能となる年間開館日数を指標とするとともに、当該施設の代表的な施設である多目的ホールの利用区分数における利用率を指標とする。								
評価指標の設定	成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	一次	施設利用者数	目標値	人	55,000	55,000	55,000	55,000
		実績値	人		54,425	53,244	53,774	
	二次	施設使用料収入額	目標値	千円	10,982	9,611	10,005	10,401
実績値		千円		10,005	10,325	10,469		
《指標の説明・数値変化の理由 など》 施設利用者数については、子育て支援施設を除く各施設(部屋)ごとの利用者数の総数で開設15年目を迎えて施設も認知され、安定した利用状況となっている。施設使用料収入についても利用者数に応じて安定した収入額となっている。								

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	施設利用者に対して具体的なアンケートは実施していない。施設利用者については管理事務所での手続きが必要のため、利用者の施設利用への要望・意見等を伺っている。利用についてはおおむね好評を得ているが、駐車場が無いなど設備面や経年劣化に伴う施設設備等の故障などのご意見をいただいている。	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	立地、規模、設備内容など各自自治体にて異なるため一連の比較は困難であるが、各市とも同等のサービスを実施している。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	当該施設を含めた文化施設として保谷こもれびホールや西東京市民会館が存在し、規模は異なるが同等レベルのサービスの提供を行っている。ただし、市民団体が利用しやすい大きさの可動式観覧席の多目的ホールや子育て支援施設を備えている施設は他には存在しない。

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	改善・見直し	平成11年に開設された当施設は、市民及び近隣住民への利用が安定的に行われており、施設の有効活用の面からも今後も事業の継続を行う必要があると考える。 受益者負担の妥当性の検証については、施設使用料に関して、定期的に使用料等審議会の審議により、評価を受けている。 運営費用面では、施設事務員について、平成20年度から正規職員(1名)を引上げ、再雇用嘱託員による施設運営事務を行い効率化を図っている。 施設運営事務の効率化を図る一方で開館時間の中で、施設管理者が施設に常駐していない時間帯や災害時・緊急時の対応を施設所管部署が担っており、その負担が増大している。また、施設の経年劣化に伴い、現在委託業務にて実施している建物総合管理業務との連携も必要であることから、指定管理者制度の活用など、包括的な施設運営の検討を進め、さらなる施設利用者の拡大とともに効率的な施設運営を目指していく必要がある。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	1		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	改善・見直し	施設の運営については、定期的な使用料の見直しや職員の嘱託化など、適正化・効率化が進められてきたことは評価できる。 今後、厳しい財政状況の下、施設・設備の経年劣化に適切に対応するとともに、更なる施設運営の効率化を図るため、指定管理者制度について、費用対効果やこれまでの保谷こもれびホール等における運用のあり方も検証のうえ、導入を検討する必要がある。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方	1		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
対象外	

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
改善・見直し	コール田無については、施設運営の適正化・効率化を進めてきており、その点については評価できるところである。 今後については、更なる適正化・効率化を図るため、公共施設の適正配置に関する基本方針に基づき、同じく田無駅周辺の文化施設である西東京市民会館及びアスタ市民ホールとの役割分担を検討するとともに、二次評価において指摘するとおり、施設運営における指定管理者制度の導入についても検討されたい。

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	次期保谷こもれびホールの指定管理者選定と連携した事業者選定も選択肢に含みながら、指定管理者制度の導入シミュレーションを行う。 施設改修については、劣化が特に進行している施設(設備)を中心として計画的に改修を実施する。 平成27年度:指定管理者制度導入に向けた検討 平成28年度以降検討結果に基づく対応(次期保谷こもれびホール指定管理者選定と連携した場合は、平成30年度に指定管理者制度導入)
---------------	--